

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.1.24

No. 75

韓国企業に負け続ける日本の企業



ヤマダ電機など電気店に行くと、そこにおかれている商品はほとんどが日本メーカーのもので、買う場合も外国製品より日本製品の方が性能がよいと考え日本のものを選ぶ人が多いでしょう。日本人の多くは外国へ行っても日本の電気製品は圧倒的強さを誇っていると思っています。確かに数年前はソニーやパナソニック等日本メーカーは世界トップのブランドでした。しかし今は海外の多くの国で韓国のサムスン等の方が、日本メーカーよりも高級ブランドとして扱われており、売り場でも日本製品は片隅に追いやられ、韓国製品や中国製品が幅をきかせているということです。

2010年4-6月期の世界の薄型テレビ出荷額シェアは1位 サムスン電子 24.4%、2位 LG 電子 14.1%、3位 ソニー 12.8% 4位 パナソニック 9.0%・・・と韓国メーカーが1,2位を独占し世界の4割近くを占めています。同様にかつて日本が優位を誇っていた半導体 DRAM シェアも1位がサムスン電子 35%、日本メーカーは3位で 20%です。自動車も中国では韓国の現代自動車がシェア2位に急成長。他国でも韓国企業の躍進はめざましく、日本企業がかすみ始めています。

技術力では圧倒的な強さを持っていると自負していた日本企業はどうしてこんなにも韓国企業に負けてしまったのでしょうか。

急激な円高色々理由があるでしょうが、強いリーダー不在、意志決定に時間がかかりすぎる、海外駐在を嫌う若手社員、平等病、派閥の横行、マーケティング欠如によるガラパゴス化等が多くの識者から指摘されています。

日本は高い技術力を持っていながらかつての高度成長期の前向きさが失われ、いつの間にか多くの日本人が内向き思考になってしまっているように感じます。日本人がもっと前向きで積極的な思考をしていかないと益々先行きが暗くなります。若い皆さんが是非前向きに新しい日本をもう一度盛り立てていってくださることを期待したいものです。



高校生就職面接会申込について

まだ就職の決まっていない生徒を対象としたハローワーク主催の就職面接会が明日25日と2月8日、2月22日の午後1時半より伊那のハローワーク2階にて三回予定されています。まだ就職が決まっていない人は何とかこの3回の面接会を通じて全員の進路が決まればと願っています。

2月に入れば3年生は自宅研修に入ってしまう、それぞれと緊密な連絡がとれなくなります。今年はこの面接会に参加される企業数があまり多くありませんがその中から選ぶより仕方ありません。まだ決まらない人は出来るだけそれぞれの会に出席して自分に合うと思われる企業を選んでください。2回目の参加申し込み締め切りは1/31日ですが、まだ進路が決まっていない生徒は全員今週中に必ず進路室まで来てください(今後の対応について話したいことがあります)。

なお進路の決まっていない生徒は、自宅研修中も出来るだけ進路室に顔を出してください。そうでないと卒業式までに進路を決めることが難しくなります。